

【国際シンポジウム】

植民地朝鮮の文学・文化と日本語の言説空間(2)

(日時) 2014年7月5日(土)~7月6日(日)

(場所) 新潟県立大学1号館B/1257講義室

——新潟市東区海老ヶ瀬471 <http://www.unii.ac.jp/access/>

(総合進行) 山田佳子(新潟県立大)

7月5日(土)		7月6日(日)	
Opening Remark	9:50-10:00	【第4部】(司会)李慧眞(世明大)	9:30-11:30
共同研究「朝鮮近代文学における日本語創作に関する総合的研究」について ——波田野節子		帝国への恋文—1939年以降に日本の雑誌で紹介された朝鮮小説 <small>제국으로 보내는戀書: 1939년 이후 일본 잡지에 소개된 조선소설</small> ——朴光賢(東国大)	
【第1部】(司会)五味淵典嗣(大妻女子大)	10:00-12:00	旧制高等学校と朝鮮人生徒の文芸活動 ——永島広紀(佐賀大)	
民謡と詩の近代——近代日本の民謡採集と〈外地〉 ——坪井秀人(国際日本文化研究センター)		(質疑)徐榮彩(ソウル大)・Nayoung Aimee Kwon (Duke Univ.)	
李箱の日本語創作ノートと朝鮮語による語りなおし—成川紀行関連文を中心に ——相川拓也(東京大院)		—Lunch—	11:30-12:30
(質疑)芹川哲世(二松学舎大)・三ツ井崇(東京大)		【第5部】(司会)高恩美(東亜大)	12:30-14:30
—Lunch—	12:00-13:00	李無影の日本語小説研究 <small>이무영의 일본어 소설 연구</small> ——鄭鍾賢(成均館大)	
【案内】仁川近代文学館の事業について ——李賢植・咸苔英(仁川近代文学館)	13:00-13:15	共通美感と矛盾なき内鮮一体—李孝石の日本語創作を中心に <small>공통미감과 모순없는 내선일체-이효석의 일본어 창작을 중심으로</small> ——裴相美(高麗大院)	
【第2部】(司会)金牡蘭(早稲田大)	13:15-15:15	(質疑)李京填(延世大)・尹仁魯(東亜大)・Irhe Sohn (Ph.D Candidate, Univ. of Michigan)	
留学生作家・廉想涉の初期文壇活動と女性主義 <small>유학생 작가 염상섭의 초기문단 활동과 여성주의</small> ——金榮敏(延世大)		—Coffee Break—	14:30-14:45
日本語版「五道踏破旅行」を書いたのは誰か? ——波田野節子		【第6部】総合討論	14:45-16:00
李光洙の二重言語エクリチュールと「五道踏破旅行記」 <small>이광수의 이중어 글쓰기와 [오도답과여행기]</small> ——崔珠瀚(西江大)		(司会)渡辺直紀(武蔵大)	
(質疑)車惠英(漢陽大)・沈元燮(独協大)		——金哲(延世大)	
—Coffee Break—	15:15-15:30	——黄鍾淵(東国大)	
【第3部】(司会)渡辺直紀(武蔵大)	15:30-17:30	——權明娥(東亜大)	
越境する日本語—中国文学者と朝鮮文学者の疎通 <small>월경하는 일본어: 중국문인과 조선문인의 소통</small> ——金在湧(円光大)		——John W. Treat(Yale Univ.)	
鄭芝溶と『自由詩人』 ——熊木勉(福岡大)			
(質疑)鄭善太(国民大)・郭炯徳			

【主催】日本学術振興会科学研究費補助研究「朝鮮近代文学における日本語創作に関する総合的研究」(2013年度~2015年度/代表・波田野節子/課題番号 25284072)

【問合せ】新潟県立大学・山田佳子研究室 yamada@unii.ac.jp